

ウイスキーヒップス  
**HIPS**  
PRESENTS

N'Y ALLEZ PAS  
**ÇA DURE TROIS HEURES !**



# LE GRAND BLEU

V E R S I O N      L O N G U E



GAUMONT presente ROSANNA ARQUETTE JEAN-MARC BARR JEAN RENO un film de LUC BESSON "LE GRAND BLEU" NATURAL BEAUTY

scénario et adaptation LUC BESSON ROBERT GARLAND d'après LUC BESSON  
avec PAUL SHENAR SERGIO CASTELLITTO JEAN BOUISE MARC DURET ANDREAS VOUTSINAS VALENTINA VARGAS et GRIFFIN DUNNE  
musique ERIC SERRA photo CARLO VARINI montage OLIVIER MAUFFROY décors DAN WEIL costumes CRÉATION-EXPRESS son PIERRE BEFVE/GERARD LAMPS  
directeur de production BERNARD GRENET producteur exécutif LES FILMS DU LOUP production GAUMONT produit par PATRICE LEDOUX réalisé par LUC BESSON



D'APRES MALINOWSKI



# グラン・ブルー

—グレート・ブルー完全版—

ゴーモン提供 ロザンナ・アークエット ジャン=マルク・バル ジャン・レノ リュック・ベッソン 作品 "LE GRAND BLEU"

脚本 リュック・ベッソン ロバート・ガーランド 原案 リュック・ベッソン

ポール・シュナール セルジオ・カステリット ジャン・ブイズ マルク・デュレ アンドレア・ヴシナス ヴァレンチナ・ヴァルガス グリフィン・ダン

音楽 エリック・セラ 撮影 カルロ・ヴァリーニ 編集 オリヴィエ・モーフロワ 美術 ダン・ウェイル 衣裳 クリエイション エクスプレス

音響 ピエール・ピフーフ/ジェラルド・ランプ 製作 パトリス・ルドゥー 監督 リュック・ベッソン

1988年度作品/フランス映画/カラー/ドルビー・ステレオ/シネマスコープ/上映時間2時間49分

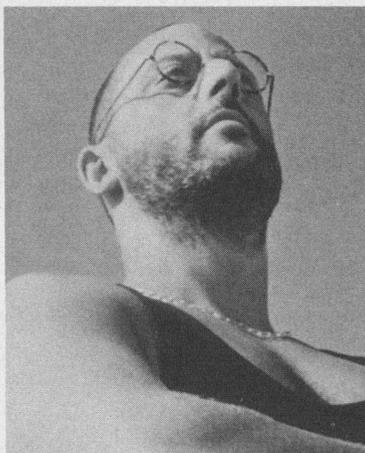
配給 日本ヘラルド映画

## (解説)

ギリシャの紺碧の海に抱かれて育ったふたりの男の果てしなき夢と友情、そして彼らを愛した女の愛……。快作アクション「ニキータ」ほかでフランス映画界のホープとして知られるリュック・ベッソン監督が88年に放った「グラン・ブルー」は、自身も幼い頃から海に親しんだ監督の思いが全篇に詰まったアドベンチャー・ロマンの注目作である。生命の源である海を舞台に、ほくはなによりその素晴らしさと神秘性を体感できる映画を作ろうと思った。監督がこう語るこの世にも美しき海洋冒険映画は、地元フランスを筆頭に世界中で大ヒット。日本でも88年の夏に英語版(邦題「グレート・ブルー」)が公開され、熱狂的なファンをつかんだ名篇である。今回公開されるロング・バージョンは、監督自ら49分の未公開場面を加えて再編集、パリでは89年の1月にロードショーされ記録的なヒットを飛ばしたフランス語完全版。人と自然との恋愛映像詩「グラン・ブルー」が真にカルト化した話題の一篇であり、その登場はここ日本でも若い観客の熱い視線を集めること必至だろう。つけ加えられた未公開場面は、主人公のジャック・マイヨールとヒロイン、ジョアンナ・ペイカーの恋愛にまつわるエピソードが中心。同時にユーモラスな場面もいくつか追加され、ロマンス映画としても、また冒険ドラマとしても味わいが深まった印象を受ける。

10才の時、モロッコ沖の海でイルカに出会い、そこでほくはこのいつも優しく微笑んでいる動物に生き方の規範を教えられた。そう語るベッソン監督が本作の主人公のモデルとなったダイバー、ジャック・マイヨールの存在を知ったのは、16才の時に南イタリアで観た彼を扱った記録映画がきっかけだった。ポンペも背負わずひとり深海を目指すマイヨ

ールのフリーダイビング(註・潜水時に錘を、浮上に風船を使うところが一般のスノーダイビングとの相違点)にショックを受けたベッソンは、「サブウェイ」企画中にマルセイユに住むマイヨールを訪ね、愛する海とイルカの話に花を咲かせる。ついで彼がマイヨールに会ったのは「サブウェイ」が公開された3年後のこと。フリーダイビングについて質問するベッソンを海へ連れていったマイヨールは、彼にバーベルを持たせて30メートルまで素潜りさせ、海面に顔を出した監督に微笑みながら、わかったかい?と尋ねたという。その時の気持ちを出発点にベッソンは脚本第一稿の執筆に着手。やがて共同脚本にマリリン・ゴールドティン(「カミュー・クロデル」)やロバート・ガーランド(「出逢い」)といった腕利きを迎え入れ、「グラン・ブルー」は現代の「愛の神話」としての輪郭を固めることになった。



キャストは主人公のジャックに「戦場の小さな天使たち」の兵士役に注目を集め、これが本格主演第一作となったジャン=マルク・バル。彼のライバルでありまた生涯通じての友であるエンゾにベッソン作品の常連男優である個性派ジャン・レノが扮し、それぞれが特訓に明け暮れた吹き替えなしの見事なダイビングを披露する。そしてジャックを愛するアメリカ人女性ジョアンナを「ベイビー・イツ・ユー」「アフター・アワーズ」「ニューヨーク・ストーリー」ほかのキュートな演技派、ロザンナ・アークエットが好演。この主演3人のいまだ新鮮なアンサンブルが、名手カルロ・ヴァリーニ撮影の幻想的な水中シーンと並び本作の大きな見どころだろう。出演は少ないが強烈な印象を残すルイ伯父役のジャン・ブイズもベッソン作品の常連俳優。ほかに「薔薇の名前」のヴァレンチナ・ヴァルガス、「アフター・アワーズ」のグリフィン・ダンが出演。全篇を彩る流麗な音楽は、これもベッソンとは名コンビをつづけるフレンチ・ポップス界のマルチアーティスト、エリック・セラが担当している。

210人のスタッフを集め、9ヵ月にわたってつづけられた撮影は、フランスのコート・ダジュール、シチリア島、エーゲ海、北海、カリブ海、バハマ諸島、そしてパリ、ニューヨーク、ベルーと、まさに世界的な大スケール。一転、安全確保とスペシャリストとしての技能が要求された水中シーンは、わずか6、7名のスタッフで撮影が敢行された。そこでは撮影助手のクリスチャン・ベトロンが開発した機動性に富んだ高性能カメラが威力を発揮したという。

「グラン・ブルー」。それは現代の愛と神秘の別名。この地球に拡がるもうひとつ別の蒼い世界を表す言葉である。

9月19日(土)と10月9日(金)をロードショー!  
前売鑑賞券¥1,400発売中!

前売鑑賞券は都内各プレイガイド、チケット・セゾン、チケットぴあにてお求め下さい。

伊勢丹前・明治通り側  
新宿ビレッジ2 (3351)  
03 3127

連日	12:00	3:20	6:40
----	-------	------	------